



独立行政法人国立美術館

# 国立西洋美術館概要

Independent Administrative Institution  
National Museum of Art

THE  
NATIONAL  
MUSEUM  
OF  
WESTERN  
ART  
2014

平成26年



## 概要

国立西洋美術館はフランス政府から寄贈返還された松方コレクション(印象派の絵画及びロダンの彫刻を中心とするフランス美術コレクション)を基礎に、西洋美術に関する作品を広く公衆の観覧に供する機関として、昭和34年4月に発足しました。以来、広く西洋美術全般を対象とする唯一の国立美術館として、展覧会事業を中心に、西洋美術に関する作品及び資料の収集、調査研究、修復保存、教育普及、出版物の刊行等の事業を展開しています。また、平成13年4月からは国立美術館各館が統合して独立行政法人国立美術館が発足し、国立西洋美術館は独立行政法人国立美術館が設置する美術館の一つとなりました。

本館はル・コルビュジエの設計によるものであり、フランス政府により世界遺産推薦が行われた「ル・コルビュジエの建築作品」の一つとなっています。

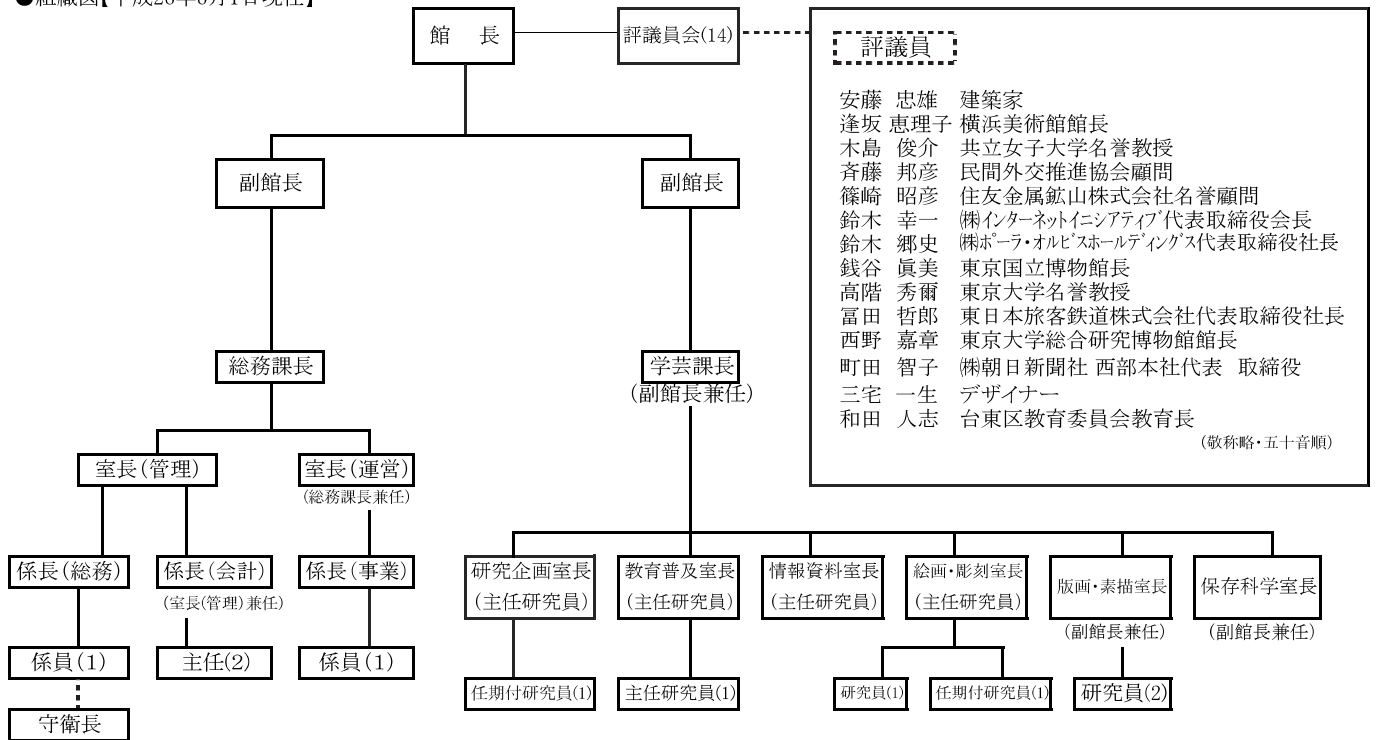
## 沿革

- |             |     |   |
|-------------|-----|---|
| 1951(昭和26)年 | 4月  | 株式会社川崎造船所の社長であった故松方幸次郎氏が、大正5年から十数年に渡りヨーロッパ各地で集めた絵画、彫刻等いわゆる松方コレクションは、サンフランシスコ平和条約により、連合国の管理下にある日本国民の財産として、フランス政府の所有に帰した。 |
| 1953(昭和28)年 | 6月  | フランス大使から外務大臣あてに覚書が提出され、日本側が東京にフランス美術館を創設することが、コレクション返還の不可欠の条件である旨の要望があった。   |
|             | 12月 | 「松方コレクション受入れについて」の閣議了解がなされ、日本政府において「フランス美術館」(仮称)を設置することとし、その準備を進めることとなった。これより文部省に「フランス美術館」(仮称)設置準備協議会が置かれた。             |
| 1959(昭和34)年 | 1月  | フランス政府―日本政府間の松方コレクション寄贈返還の正式調印がなされた。  |
|             | 3月  | 国立西洋美術館建物が落成した。   |
|             | 4月  | 文部省設置法の施行により国立西洋美術館が設置された。  |
|             | 6月  | 開館式、一般公開を行った。   |
| 1964(昭和39)年 | 7月  | 講堂、事務庁舎が竣工した。   |
| 1968(昭和43)年 | 6月  | 文部省設置法の一部改正(文化庁の設置)により、国立西洋美術館は文化庁附属機関となった。   |
| 1979(昭和54)年 | 5月  | 新館が竣工した。  |
| 1984(昭和59)年 | 7月  | 文部省設置法の一部改正により、国立西洋美術館は、文化庁の施設等機関となった。  |
| 1997(平成9)年  | 12月 | 企画展示館が竣工した。   |
| 1998(平成10)年 | 3月  | 本館耐震改修(免震化)等工事が竣工した。  |
|             | 4月  | 本館・新館がリニューアル・オープンした。  |
| 2000(平成12)年 | 3月  | 新館第三展示室(版画素描室)改修工事が竣工した。  |
| 2001(平成13)年 | 4月  | 独立行政法人国立美術館法に基づき独立行政法人国立美術館が発足し、国立西洋美術館は独立行政法人国立美術館が設置する美術館となった。  |
| 2002(平成14)年 | 3月  | 研究資料センターを開設した。  |
| 2007(平成19)年 | 9月  | 本館が国の世界遺産暫定一覧表に記載された。   |
|             | 9月  | 本館の世界遺産推薦書(暫定版)がユネスコ世界遺産センターに提出された。   |
|             | 12月 | 本館が国の重要文化財に指定された。   |
| 2008(平成20)年 | 1月  | 本館がユネスコ世界遺産に推薦されることが決定した。   |
|             | 2月  | 本館の世界遺産推薦書がユネスコ世界遺産センターに提出された。  |
| 2009(平成21)年 | 2月  | 新館空気調和設備その他工事(建築・電気設備・機械設備)が竣工した。   |
|             | 6月  | 新館がリニューアル・オープンした。   |
|             | 6月  | 開館50周年記念式典を挙行了した。   |
|             | 6月  | 第33回世界遺産委員会において「情報照会」の決議が採択された。   |
| 2011(平成23)年 | 6月  | 第35回世界遺産委員会において「記載延期」の決議が採択された。   |



# 組織

●組織図【平成26年6月1日現在】



- 評議員**
- 安藤 忠雄 建築家
  - 逢坂 恵理子 横浜美術館館長
  - 木島 俊介 共立女子大学名誉教授
  - 斉藤 邦彦 民間外交推進協会顧問
  - 篠崎 昭彦 住友金属鉱山株式会社名誉顧問
  - 鈴木 幸一 ㈱インターネットインシアティブ代表取締役会長
  - 鈴木 郷史 ㈱ボーラ・オルビスホールディングス代表取締役社長
  - 銭谷 眞美 東京国立博物館長
  - 高階 秀爾 東京大学名誉教授
  - 富田 哲郎 東日本旅客鉄道株式会社代表取締役社長
  - 西野 嘉章 東京大学総合研究博物館館長
  - 町田 智子 ㈱朝日新聞社 西部本社代表 取締役
  - 三宅 一生 デザイナー
  - 和田 人志 台東区教育委員会教育長
- (敬称略・五十音順)

( )内の数は員数

●職員数【平成26年6月1日現在】

特別職		一般職						労務職	研究職					合計	
館長	副館長	課長	室長	係長	主任	係員	計	労務職員	副館長	課長	主任研究員	研究員	任期付研究員		計
1	1	1	1	2	2	2	8	1	1	-	5	3	2	11	22

# 予算

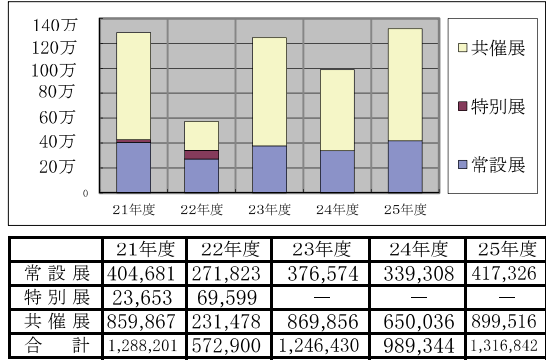
(単位:千円)

区分・事項	平成25年度	平成26年度	区分・事項	平成25年度	平成26年度
<b>収入</b>			<b>支出</b>		
運営費交付金	562,802	555,393	一般管理費	221,191	209,957
自己収入相当(入場料等収入)	188,235	188,235	展示事業費	370,228	376,800
作品購入費留保分			調査研究事業費	53,705	53,858
各館負担経費	△ 7,258	△ 2,305	教育普及事業費	98,655	100,708
<b>計</b>	<b>743,779</b>	<b>741,323</b>	<b>計</b>	<b>743,779</b>	<b>741,323</b>

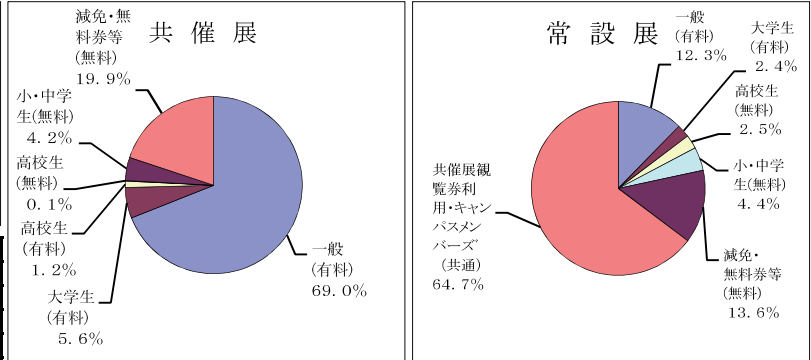
※当初予算額。人件費は除く。

# 入館者数

●年度別入館者数推移 (単位:人)



●平成25年度入館者内訳



## 展覧会等

### ●展覧会の開催

当館では、創立当初からの松方コレクション(印象派の絵画及びロダンの彫刻を中心とするフランス美術コレクション)及び、毎年収集している中世末期から20世紀初頭までの西洋美術に関する作品を収蔵し、これらの絵画、素描、版画、彫刻や工芸から150～200点の作品を選び、常設展として西洋美術の流れが概観できるような展示を行っています。

また、欧米の美術館からの借用作品によって、当館の自主的な特別展を年1回、さらに新聞社等との共催展を年2回程度開催しています。

### 展覧会 平成25年度実績

種別	展覧会名	開催期間	開催日数(日)	共催者	総入場者数(人)	一日平均(人)
常設展	「ルネッサンス以降のヨーロッパ近世絵画」 「近・現代絵画と彫刻」	平成25年4月1日～平成26年3月31日	285	—	417,326	1,464
小企画展 (常設展と併設)	風景—国立西洋美術館素描コレクションより	平成25年4月1日～平成25年6月2日 (平成25年3月2日～平成25年6月2日)	55 (全81)	—	—	—
	ピカソが描いた動物たち—ビュフォン『博物誌』にもとづく挿絵本より	平成25年7月9日～平成25年8月25日	43	—	—	—
	イタリア版画展—新収作品を中心に	平成25年9月6日～平成25年11月17日	63	—	—	—
	生誕150周年記念 国立西洋美術館所蔵 エドヴァルド・ムンク版画展	平成25年12月7日～平成26年3月9日	73	ノルウェー王国大使館	—	—
特別展 (常設展と併設)	ル・コルビュジエと20世紀美術	平成25年8月6日～平成25年11月4日	79	—	—	—
共催展	ラファエロ	平成25年4月1日～平成25年6月2日 (平成25年3月2日～平成25年6月2日)	56 (全82)	※1	365,635 (全505,246)	6,529
共催展	システイーナ礼拝堂500年祭記念 ミケランジェロ展—天才の軌跡	平成25年9月6日～平成25年11月17日	63	TBS 朝日新聞社	220,144	3,494
共催展 (常設展と併設)	ソフィア王妃芸術センター所蔵 内と外— スペイン・アンフォルメル絵画の二つの『顔』	平成25年10月3日～平成26年1月5日	77	※2	—	—
共催展	国立西洋美術館×ポーラ美術館 モネ、風景をみる眼—19世紀フランス風景画の革新	平成25年12月7日～平成26年3月9日	77	※3	313,737	4,075

※1 フィレンツェ文化財・美術館特別監督局、読売新聞社、日本テレビ放送網

※2 ソフィア王妃芸術センター、スペイン政府—Acción Cultural Española(AC/E、スペイン文化活動公社)、読売新聞社

※3 公益財団法人ポーラ美術振興財団ポーラ美術館、TBS、読売新聞社

### 展覧会計画 平成26年度

種別	展覧会名	開催期間	開催日数(日)	共催者
常設展	「ルネッサンス以降のヨーロッパ近世絵画」 「近・現代絵画と彫刻」	平成26年4月1日～平成27年3月31日	269	—
小企画展 (常設展と併設)	私は見た:フランシスコ・デ・ゴヤの版画における夢と現実	平成26年7月8日～平成26年9月15日	62	—
共催展	ジャック・カローリアリズムと奇想の劇場	平成26年4月8日～平成26年6月15日	60	読売新聞社
共催展 (「ジャック・カロー」展に併設)	非日常からの呼び声 平野啓一郎が選ぶ西洋美術の名品	平成26年4月8日～平成26年6月15日	60	読売新聞社
共催展	橋本コレクション 指輪 神々の時代から現代まで—一時を超える輝き	平成26年7月8日～平成26年9月15日	62	東京新聞
共催展	日本・スイス国交樹立150周年記念 フェルディナント・ホドラー展	平成26年10月7日～平成27年1月12日	81	NHK、NHKプロモーション
共催展	チェント市震災復興支援 グエルチーノ展 (仮称)	平成27年3月3日～平成27年3月31日 (平成27年3月3日～平成27年5月31日)	25 (全78)	TBS

## 所蔵美術作品等

### ●作品の収集と保管

中世末期から20世紀初頭に至る西洋絵画及び各時代を展望し得るヨーロッパ版画、西洋工芸美術品の収集を行っています。これらに加えて、旧松方コレクションの収集を続けています。

### 所蔵作品

(平成26年3月31日現在)

種類	区分	設立時の松方コレクション	購入	寄贈	管理換	計	25年度増減数	寄託	合計
絵画		196	130 (+1)	59	7	392 (+1)	1	29	421
素描		80	32	44	1	157	0	93	250
版画		26	3,617 (+7)	237	0	3,880 (+7)	7	0	3,880
彫刻		63	13	25	0	101	0	0	101
工芸		0	1	814	0	815	0	0	815
書籍		0	50	8	0	58	0	0	58
参考作品等		5	87	34	0	126	0	0	126
計		370	3,930 (+8)	1,221	8	5,529 (+8)	8	122	5,651

( )は平成25年度購入及び寄贈作品数

### ●資料の収集

当館は1959(昭和34)年の設立以来50年以上にわたって展覧会企画や西洋美術史研究のために文献資料を収集してきました。これらの資料を館内外の美術館職員、研究者に公開し、我が国における西洋美術研究及び美術館活動の振興に資することを目的として、2002(平成14)年3月15日に研究資料センターを開設しました。

同センターでは西洋美術に関する資料を対象に収集、整理を行っています。特に中世から20世紀前半までの時代に重点を置き、展覧会カタログやカタログ・レゾネなどの図書、学術雑誌、電子リソース等の提供に努めています。

蔵書数は現在、図書約 46,000冊、逐次刊行物延べ2,933タイトルを数えます。

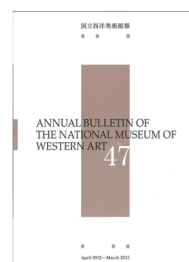
### 所蔵資料

(平成26年3月31日現在)

区分	種類	数量	
図書	和書	11,595 冊	
	洋書	34,697 冊	
	計	46,292 冊	
逐次刊行物	和逐次刊行物	27,771 冊	
	洋逐次刊行物	35,416 冊	
	計	63,187 冊	
その他	ファイル資料	958 件	
	マイクロ資料	フィッシュ	19 タイトル 71,090 枚
		フィルム	16 タイトル 357 本

### ●調査研究

当館では、所蔵作品に関する調査研究を恒常的に行っています。また、各研究員がそれぞれ専攻する分野の課題についても調査研究を行っています。(詳細については『国立西洋美術館報』及び『国立西洋美術館研究紀要』を参照)



《国立西洋美術館報》



《国立西洋美術館研究紀要》

## 教育普及事業

### ●講演会・出版等の活動

当館では、所蔵作品による常設展を中心に、学校、一般来場者、家族など多くの利用者に向けて、多様なプログラムを通年で実施しています。また、特別展に関連して講演会、スライド・トーク、コンサートなども定期的に行っています。

出版活動として、展覧会カタログ、季刊の国立西洋美術館ニュース『ゼフェロス』、研究紀要、所蔵品図録、ポケットガイド等を刊行しています。

事業名	タイトル等	概要
常設展関連プログラム	美術トーク	第1、第3、第5土曜日と毎週日曜日にボランティアスタッフが常設展作品を数点選び解説
	建築ツアー	第2、第4土曜日に世界的建築家ル・コルビュジエ設計の本館建物や前庭を巡り、ボランティアスタッフが解説
	ファン・ウィズ・コレクション	所蔵作品を多様な視点から楽しむプログラム
	ファン・デー	潜在的来館者へも門戸を広げるための美術館無料開放プログラム
	ウィンター・プログラム	クリスマス・シーズンに行うプログラム。ギャラリートークやクリスマス・キャロルコンサートなどを実施
ファミリープログラム	びじゅつーる	常設展示作品の鑑賞用教材。ファン・デー開催時に無料貸与。
	どうよびじゅつ	4、5、9、10、11月の第2・第4土曜日に行う常設展示作品の鑑賞と創作等の体験がセットになったプログラム
学校関連プログラム	スクール・ギャラリートーク	小・中・高校生等に対してボランティアスタッフが行う予約制の常設展示作品の鑑賞プログラム
	オリエンテーション	大人数の団体を対象に、講堂で常設展又は企画展について解説を行う予約制のプログラム
	職場訪問	修学旅行や総合学習の一環でグループで来館する生徒を対象に、美術館や学芸員の仕事に対する質問に対応
	先生のための鑑賞プログラム	企画展ごとに小・中・高校の教員を対象に、講堂で展覧会の趣旨や主な作品について展覧会担当者が解説
企画展関連プログラム	講演会	講堂で企画展のテーマにあわせた講演を実施
	スライドトーク	夜間開館時に講堂でスライドにより展覧会の見どころを解説
	コンサート	講堂等で企画展にちなんだ音楽を演奏
	障がい者のための鑑賞プログラム	展覧会概要の説明と自由鑑賞がセットになったプログラム。年2回ほど閉館後に開催。
ボランティアによる活動	研修を積んだボランティアスタッフにより、ファミリープログラムやスクール・ギャラリートークを中心とした活動を実施	
インターンシップ	大学院生以上を対象として、当館職員のもと、所蔵作品の調査、展覧会や教育プログラムの企画補助など、各々が希望する専門分野に分かれて行う実務研修	
他組織との連携	都内の高等学校、小・中学校教員が組織する研究団体、美術館などと協力・連携して行う授業・研修・プログラムなど	
出版物	国立西洋美術館ニュース「ゼフェロス」	展覧会や教育プログラムなどの活動を広報する季刊誌
	展覧会図録	各企画展ごとに作成
	国立西洋美術館報	各年度ごとの収集、展覧会、調査研究、教育普及、情報資料収集・発信、保存修復等の活動報告書
	国立西洋美術館研究紀要	当館の所蔵作品や活動に関わる研究論文等を掲載した定期刊行物(年1回)
	国立西洋美術館フリーガイド(日・英・中・韓)	観覧者向けの当館利用案内パンフレット
	建築探検マップ(日・英・仏・中・韓)	ル・コルビュジエが設計した本館建築の特徴を解説したパンフレット
	ジュニア・パスポート	企画展の入場券を兼ねた小中学生対象の展覧会ガイド
	展示作品リスト	企画展の無償配布の作品リスト



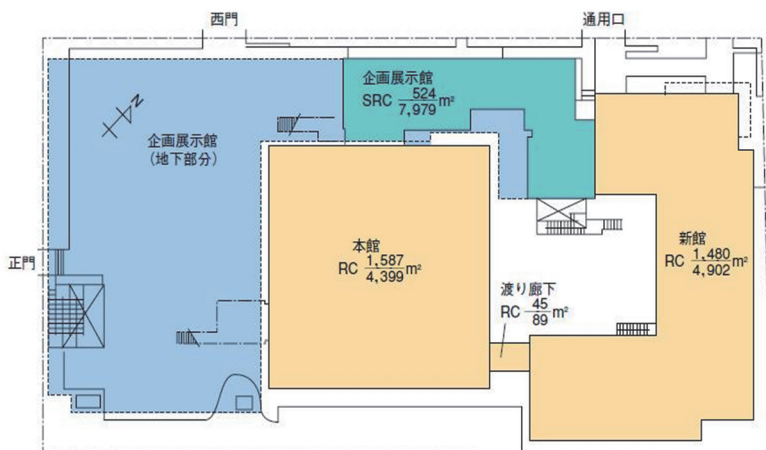
# 施設

## ●土地

区分	面積	摘要
所有地	2,208 m <sup>2</sup>	昭和42,43年度に寛永寺所有地を購入
借用地	7,080 m <sup>2</sup>	東京都より有償借用
計	9,288 m <sup>2</sup>	

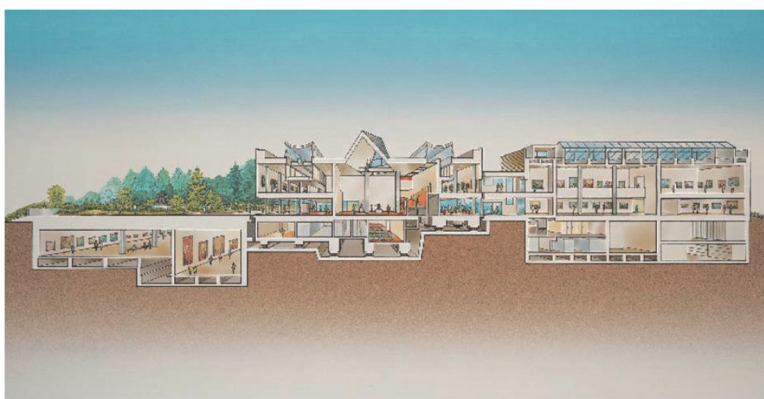
## ●建物

区分	構造・階数	竣工	面積		摘要
			建築	延床	
本館	RC・地上3階・地下1階	昭34.2.28	1,587 m <sup>2</sup>	4,399 m <sup>2</sup>	展示室 1,533 m <sup>2</sup>
新館	RC・地上2階・地下2階	昭54.5.31	1,480 m <sup>2</sup>	4,902 m <sup>2</sup>	展示室 1,525 m <sup>2</sup> 収蔵庫 676 m <sup>2</sup>
渡り廊下	RC・地上2階	昭54.5.31	45 m <sup>2</sup>	89 m <sup>2</sup>	
企画展示館	SRC・地上2階・地下4階	平9.12.25	524 m <sup>2</sup>	7,979 m <sup>2</sup>	展示室 1,362 m <sup>2</sup> 収蔵庫 421 m <sup>2</sup>
計			3,636 m <sup>2</sup>	17,369 m <sup>2</sup>	展示室 4,420 m <sup>2</sup> 収蔵庫 1,097 m <sup>2</sup>



●当館本館は、戦後、日仏間の国交回復・関係改善の象徴として、20世紀を代表する建築家のひとりであるフランス人建築家ル・コルビュジェの設計により、1959(昭和34)年3月に竣工した歴史的建造物です。

1998(平成10)年には地震に強い建物とするために、基礎部分に免震装置を取り付ける「免震レトロフィット」と呼ばれる改修工事を完成させています。また、2007(平成19)年には「国の重要文化財(建造物)」に指定され、フランス政府により世界遺産推薦が行われた「ル・コルビュジェの建築作品」の一つとなっています。

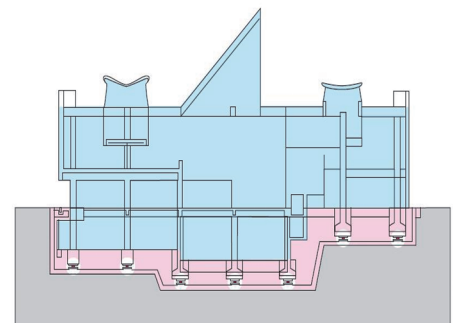


企画展示室

本館展示室

新館展示室

## 免震化



本館



## 国立西洋美術館案内

- 所在地 : 〒110-0007 東京都台東区上野公園7番7号
- 開館時間 : 午前9時30分～午後5時30分  
※ただし、秋の企画展閉会日以降の開館日から春の企画展開催日までの開館期間中は午前9時30分～午後5時(今年度は該当しない)  
毎週金曜日＝午前9時30分～午後8時  
入館は閉館時刻の30分前まで。  
その他、臨時に開館時間を変更することがあります。
- 休館日 : 毎週月曜日  
※ただし、月曜日が祝日又は祝日の振替休日となる場合は開館し、翌日の火曜日が休館  
※年末年始(12月28日から翌年1月1日まで)  
その他臨時に開館・休館することがあります。
- 常設展無料観覧日 : 毎月第2・第4土曜日、国際博物館の日(5月18日)、文化の日(11月3日)
- 常設展観覧料 : 一般/430(220)円 大学生/130(70)円 ( )内は20名以上の団体料金  
※ 高校生以下及び18歳未満、65歳以上の方は無料です。  
※ 高校生には、高等専門学校1～3年生までの学生を含み、大学生には高等専門学校の4、5年生又はこれらに準ずる者を含みます。  
※ 障害者手帳をお持ちの方(付添者は原則1名まで)は無料です。  
※ 共催展、特別展の観覧料は展覧会ごとに別に定めます。  
※ 国立美術館キャンパスメンバーズは常設展を無料とし、特別展及び共催展は団体料金を適用します。
- 交通案内 : JR上野駅下車(公園口) 徒歩1分  
京成電鉄京成上野駅下車 徒歩7分  
東京メトロ銀座線、日比谷線上野駅下車 徒歩8分

○位置図



- お問い合わせ : 電話 03(3828)5131(代表) FAX 03(3828)5135  
ハローダイヤル 03(5777)8600  
ホームページ <http://www.nmwa.go.jp/>